

船舶事故等調査報告書

平成21年4月23日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008年広第62号	
事故等名	旅客船宮島運航阻害	
発生年月日時刻	平成20年9月9日14時43分ごろ	
発生場所	呉市天応沖	
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年11月13日広島・地方事故調査官が船舶事故等認知通知を入手し、平成21年1月22日機関長から口述聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報 船種・船名・総トン数 船舶番号 船舶所有者等	旅客船 宮島 190トン 134114 瀬戸内海汽船株式会社	
乗組員等に関する情報	機関長 四級海技士(機関)	
負傷者	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は、機関長ほか4人が乗り組み、乗客19人を乗せ、広島港を松山港に向けて出港し、呉市天応沖を航行中、平成20年9月9日14時43分ごろ、左舷主機が停止したが、右舷主機のみで広島港に引き返した。 天候は晴で、風力4の南風であった。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり あり 本船は、左舷主機燃料調整リンク機構のボルトを十分に締め付けず、また、同リンク機構のボルトの点検を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、本船が1箇月前に左舷主機燃料調整リンク機構を取り外して復旧した際、同リンク機構のボルトを十分に締め付けず、また、同リンク機構のボルトの点検を適切に行わなかったため、同ボルトが緩んで左舷主機が停止したことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	